

緊急アンケート～裁判員制度導入に向けて～ 第2回集計結果

実施機関：平成15年9月7日～12月31日 集計日：平成16年1月5日

市民の裁判員制度つくり会

1. 「裁判員制度」を知っていますか？
はい 304 (55.5%) いいえ 236 (43.1%) 無効=6(1.1%) 無回答=2(0.4%)
と回答された方 何から知ったのですか？(複数回答可) 有効回答数=430
ア. テレビ/ラジオ(172) イ. 新聞(150) ウ. 雑誌(22) エ. ホームページ(4)
オ. 各種学校(16) カ. イベント・セミナー(10) キ. 政府広報(6) ク. 友人・知人(50)
2. 「裁判員」になるために希望する制度、裁判所内施設はありますか？(複数回答可) 有効回答数=1120
有給休暇(196) 特別休暇(304) 育児・介護サービス(136) 託児所(106)
パソコン・インターネット環境(102) 裁判に関するオリエンテーション(276)
3. 裁判は連日開廷の予定ですが、何日間なら参加できますか？(複数回答不可)
3日以内(47.8%) 1週間以内(28.1%) 2週間以内(4.0%) 1ヶ月以内(2.9%)
問わない(10.6%) 無効=(2.2%) 無回答=(4.4%)
4. 仕事や介護、育児などの引継ぎを考慮して、どれくらい前に「裁判員」候補当選のお知らせが欲しいですか？
1週間から10日(8.4%) 約1ヶ月(41.6%) 約2ヶ月(19.3%)
約3ヶ月(13.5%) 3ヵ月以上(11.3%) (複数回答不可) 無効=(1.5%) 無回答=(4.4%)
5. 「裁判員」には交通費の他に日当の支払いが予定されています。いくらが妥当ですか？(複数回答不可)
¥30,000-未満(43.4%) ¥30,000-以上¥50,000-未満(33.6%)
¥50,000-以上¥80,000-未満(11.3%) ¥80,000-以上(4.0%) 無効=(3.3%) 無回答=(4.4%)
6. 現在の刑事裁判に対するイメージは？(複数回答可) 有効回答数=1034
とにかく長い(376) 言葉が難しい(218) 内容がわかりにくい(240)
近寄りやすい(120) 興味・関心がある(72) 信頼できる(8)
7. 裁判官と「裁判員」(市民)の数を比べるとしたら、1つのグループに何人が適当ですか？(複数回答不可)
裁判官の人数 1人(23.7%) 2人(31.8%) 3人(37.6%)
裁判員(市民)の人数 3～5人(26.0%) 6～9人(39.8%) 10～12人(28.1%)
8. 「裁判員」になるための意義や知識を義務教育で教えることに賛成ですか？
はい(82.1%) いいえ(14.6%) 無回答=(3.3%)
9. 「裁判員制度」導入後のメディア報道に何を希望しますか？(複数回答可) 有効回答数=940
裁判員経験者の経験談を伝えて欲しい(152) 事件当事者に配慮した報道(266)
事実のみを詳細に伝える報道(190) 偏見を植付けないよう配慮した報道(306)
現状のままで良い(26)
10. 9. に際してあなたがコメントを求められたら、プライバシーが保護されれば意見を述べても良いと思いますか？
はい(71.2%) いいえ(23.0%) 無回答=(5.8%)

性別 男=332(60.6%) 女=198(36.1%) 無回答=18(3.3%)

年齢 10代=12(2.2%) 20代=126(23.0%) 30代=170(31.0%) 40代=106(19.3%)
50代=90(16.4%) 60代=26(4.7%) 70代=2(0.4%) 無回答=16(2.9%)